

国民大運動行動報告

第067号
2022年
2月25日

「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」
国民大運動実行委員会
〒113-8462 文京区湯島2-4-4 全労連会館内
Tel 03-5842-5611 Fax 03-5842-5620

～第208通常国会 安保破棄中実委・中央社保協・国民大運動主催 2.24 定例国会行動～

岸田「大軍拡・改憲」政権 反対！ 軍事費削ってコロナ対策にまわせ！ ロシアの暴挙に抗議！ 憲法9条で平和的解決に尽力すべき！

三者共催による第3回目の定例国会行動は、2月24日、国公労連の中岡淳中央執行委員による司会のもとでおこなわれ、60名が参加しました。22日、衆議院本会議で自民、公明に加え国民民主の賛成により22年度政府予算案は可決され、24日から参議院での審議が始まりました。野党が新年度予算案に賛成することは極めて異例のことです。ロシアのウクライナ侵攻で軍事的緊張が高まり、国際情勢も緊迫しています。当日は埼玉デーもとりくまれました。



改憲と大軍拡、これまでの専守防衛をかなぐり捨てる動きは重大！



主催者を代表して挨拶をおこなった安保破棄中実委の東森英男事務局長は、後手後手のコロナ対策から国民のいのちを守る施策をと訴え、他国に侵入して爆撃することもあるとした岸防衛大臣発言を厳しく批判。「ウクライナの主権を侵害するロシアの暴挙に抗議し、憲法9条を持つ日本が平和的解決に尽力すべきだ」と訴え、「国民のいのちと暮らしを犠牲にした大軍拡に「軍事費削って」の要求を対置した運動を発展させて参院選につなげていこう」とよびかけました。

国民は改憲を望んでいる訳ではない！



国会情勢を報告した高橋千鶴子衆議院議員は、参議院で予算委員会が始まり全大臣出席の裏で憲法審査会が開かれていると批判し、「国民のいのちと暮らしを優先し、まずは予算委員会をしっかりとやるべき。国民は改憲を望んでいるわけではない」と強調。ウクライナ情勢のなか、敵基地攻撃攻撃について「他国の領空内に侵入して攻撃することを排除しない」との防衛大臣発言は憲法違反そのものだとし、オミクロン株由来での日米地位協定改訂の問題など、「皆さんの運動が私たちの背なかを押してくれる。これからも一緒に頑張りましょう」とよびかけました。

「公的医療を守れ！ 都立・公社病院の独法化中止！」の声をひろげよう！



都立病院の充実を求める連絡会の前沢淑子代表委員は、「コロナによる医療危機の真っ只中のいま、小池都知事は所信表明では一言も触れず、開会中の定例都議会に『都立病院の廃止条例』を提案し可決した。コロナ対策に全力をあげるのが都政の役割だ」と批判。「厚労省の資料でも全国 2,287 病院中コロナ病床確保の 1 位から 11 位までが都立・公社病院だ」とし、「与党議員からも『なぜ、いま独法化なのか』の声もあがっている。22 日の都議会前には 450 人が声をあげた」と報告。「参院選にむけて、いのちを守るたたかいをさらに大きくしていく」と決意をのべました。

「憲法改悪を許さない全国署名」の運動を進め、改憲反対の国民世論をひろげよう！

憲法会議の高橋信一事務局長は、「改憲勢力 2/3 超えて改憲の動きが一気に強まり、憲法はいま戦後最大の危機を迎えている」とし、予算委員会に集中すべき時に併行して憲法審査会を開いたことを批判。自民党は審査会を定例化させたいとしオンライン国会を持ち出し、午前中におこなわれた審査会での参考人質疑の内容を報告。オンライン国会は審査会の議題ではなく議員運営委員会で議論することだとし「参議院で改憲派を少数派に追い込み、憲法がいきる社会を実現させよう」とよびかけました。



国民が望んでいるのは、安心して暮らせる医療・年金・社会保障！

行動提起をおこなった中央社保協の山口一秀事務局長は、衆議院での予算強行を批判し「参議院では、予算の問題点を明らかにしていくことが重要だ」と強調。10 月実施とされる 75 歳以上の医療費窓口負担 2 倍化について、「共産、立民が衆議院に出した予算の組み替え法案についてきちんと対応した審議を求めたい」と述べました。憲法審査会についても、「国民が望んでいるのは、安心できる医療、年金、社会保障であり、改憲ではない」とし、「要求実現にむけて奮闘し運動を大きく前進させよう」とよびかけました。



今後のとくみ日程

行動の最後は、自治労連の小原徹也中央執行委員によるコールとともに「国民のいのちと暮らしを守る予算に 転換しろ！」などと、国会に向けて怒りのこぶしをつよく掲げました。

- ◆ 3 月 2 日(水)12 時～ 大幅賃上げ・底上げ,全国一律最賃実現！いのち・くらし・雇用・生業・憲法をまもれ！中央総決起集会&国会請願デモ 日比谷野音 署名提出行動 14:30～ 参議院会館講堂

今後の定例国会行動の予定

- ◆ 12:15～13:00 ◆衆議院第 2 議員会館前 ◆隔週の水曜
- ◆ 3 月 9 日、3 月 23 日、4 月 6 日、4 月 20 日、 5 月 11 日は中止、 5 月 25 日、6 月 8 日 今後の状況により、変更がある場合はお知らせします。

滋賀・県民要求実現ニュース 2 月 10 日「春の総行動 開催」をご紹介します

春の総行動 開催

2月7日、昨年12月に提出した28通の請願をもとに県との懇談を行う「春の総行動」を開催しました。

健康福祉部関係は担当者がコロナ対応で多忙なためやり取りできませんでした。

この日、やり取りしたのは以下の部に関連する項目です。

- ・知事公室・総合企画部
- ・総務部
- ・商工観光労働部
- ・土木交通部
- ・教育委員会
- ・病院事業庁

(写真左下：母親大会連絡会が「放射能から子どもを守ろう」署名を提出しました)



小集会開催

開会挨拶 岡本恭治代表

開会で実行委員会の岡本代表はワクチン接種の国の対応、饗庭野演習場での実弾射撃演習再開に触れました。また、県への要求運動に関して「県

側が県民の要求に対してどのような姿勢をとるかが民主的な対応なのかというのは有権者の意志で政権や政策が転換できる政治、それが私たちの目指す民主主義

だ。私たちの声によって県政が変わっていく。そのような民主主義が県政で実現しなければならない。県当局がどのような対応をするのか、耳を傾ける姿勢はあるのか、何を受け入れて何を拒否したのか。それをしっかりと分析して県政の転換につなげることが必要だ」と挨拶しました。

(写真右上：挨拶する岡本代表)



各団体からは3人の発言がありました。

自治労連 杉本高 委員長

県立大学の問題。財政的に乏しく危機的、授業料の減免など求めている。設備が老朽化している。

(卒業生が)県内に就職してくれない状況がある。抜本的に改善してもらいたい。

県立病院の経営形態の変更について来年度検討することになっている。地方独立行政法人化を狙っていると考えられる。診療報酬は変わらないが、例えば診断書代、差額ベッド代など値上げされる可能性がある。儲からない分野については切り捨てが起きうる。大津市民病院ではケアセンターや看護学校を廃止された。そのようにならないように引き続き県の直営を堅持せよと要求していきたい。

新婦人 安齋友美 事務局長

PCR 検査無料というがキットはない。国からも雇った人に使いなさいとなっていて無料キットはほとんど使われていない状況。無症状が増えている。学校や施設でしっかり検査をしてほしいと要請する。

コロナ禍で生理の貧困という言葉がニュースになるなど全国的に広がった。仕事やバイトがなくなった学生、非正規労働者、ひとり親家庭など苦勞されている。生理用品を買うのが大変という方たちがたくさんいる。一方で生理用品が買えないというだけの問題ではない。安全安心に暮らせる女性の権利、健康に対する権利について要請した。生理用品はトイレトペーパーと同じように配置してほしい、ということを書いていく。



全滋賀教組 高岡光浩 委員長

3つの内容。コロナで40人学級、密となっている。教師もわが子の休校などで休む。日頃からギリギリなので回っていかない。今までの条件の悪さが浮き彫りになっている。養護学校はマンモス化、詰め込まれている。手をかけたいが先生が足りない。これを何とかしてほしい。

小中は35人学級だが、特別支援学級の子ども

が行事の時や特定の教科の時はクラスによっては38人39人になる学級がある。これを県の力で何とかしてほしい。

高校では5~10万するタブレットを全員に買わせるとしている。おかしい。公費で用意すべきという署名を始めたところ短期間で1万2千筆くらい集まった。このことも要求する。

閉会挨拶 社保協 田村事務局長

「開催出来て一定前進。(コロナで) 県政も県民も今大変な時期。午前中まん延防止の話があった。知事は経済を回さないといけないからと発動しない。事業者は補償がなくては持たない。県民要求があるからこそ県政に伝わる。

医療現場も大変。感染の拡大で民医連の診療所も往診も大変な状況になっている。学校が休校になったので職員が出勤できない状況がある。この状況の中で県が私たちにどう寄り添うのか、どう県民本位の県政をするのか、私たちの運動が大事。7月に知事選挙がある。県民の声に十分耳を傾けていない。私たちの声に耳を傾けてくれる候補者を選んで県政を変えていきたい。」と小集会の閉会挨拶をしました。

県立病院の経営形態の変更に注視を

実行委員会では今後会議を開いて総括をします。

長年繰り返し要請し積み上げている要求もありますが、次年度検討されるという「県立病院の経営形態の変更」についてなど新たな重大な課題も浮上しました。注視して引き続き取り組みを強めていきましょう。

<<今後の予定>>

- 2月26日(土) 市民アクション集会(14:00-解放県民センター)
- 3月5日(土) 原発のない社会へ2022びわこ集会(膳所公園、生涯学習センター)
- 3月18日(金) 憲法共同センター学習会(18:45-弁護士会館)
- 5月1日(日) 第93回メーデー(内容未定)
- 5月3日(火) 憲法の日集会(市民アクション・しが) ※予定